

## 中国5県新型コロナ対応緊急支援助成

### 公募結果

#### ■ 概要

|           |   |
|-----------|---|
| 選考結果      | 不採択   |
| 団体名       | NPO 法人クローバー   |
| 代表者名      | 神田直人  |
| 申請事業名 主題  | 農 福 地域 雇用 支援事業  |
| 申請事業名 副題  | 農 福 地域 雇用 支援事業  |
| エリア／テーマ   | 【岡山県】<br>障がい者就労・居場所支援   |
| 解決すべき社会課題 | 【領域】<br>2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動<br>【分野】<br>④ 働くことが困難な人への支援<br>⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援<br>【その他】<br>領域: 食料自給率向上・食料安全保障強化に係る支援/分野: 地域農業の活性化につながる支援  |
| 申請事業の概要   | ”農福連携”事業として、利用者にとって比較的負担が少なく、天候に左右されにくい安定性のあるビニールハウス栽培を行う。収益性が高い野菜・果物を栽培し、利用者の工賃の増加につなげる。既存事業である内職と新規事業の農業を共に稼働させ、不足する部分を補い合い、工賃の安定性を高める。SNSやHPでPR活動を実施し、収穫した農作物は地域の小売店や直売所で販売し、対面販売の機会があれば積極的に参加する。栽培・販売を通じ、地産地消や障がい理解の促進を図る。また、販売に至らない状態の生産品は支援員と利用者協働で調理する昼食の材料に使用、加工品への利用等で食品ロスを防ぐと共に利用者の食育を推進する。 |
| 事業実施地域    | 岡山県   |
| 申請事業期間    | 2020年12月～2021年11月   |
| 申請助成額     | 5,000,000円  |

#### ■ 審査コメント

- ✓ 事業目的には共感できる。農福連携は難しいが、成果をあげて欲しい。実施体制をもう少し強化されてから、チャレンジして頂きたい。
- ✓ いきなり高額の助成金へ挑戦するのではなく、農福連携以外の取り組みも含め、徐々に取り組みを始められた方がよいと感じる。
- ✓ 事業の実効性と金額から具体的なところがイメージできない。
- ✓ 採択には残念ながら至らなかったが、人材育成や事務面といった組織基盤の整備を含めて、意思を確認の上で支援していきたい。

## 中国5県新型コロナ対応緊急支援助成

### 公募結果

#### ■ 概要

|           |   |
|-----------|---|
| 選考結果      | 不採択   |
| 団体名       | NPO 法人吉備たくみ会  |
| 代表者名      | 内田和雄  |
| 申請事業名 主題  | 自宅内職作業で誰もが社会と繋がる自立支援  |
| 申請事業名 副題  | ひきこもり支援×倉敷発アウトドアブランド  |
| エリア／テーマ   | 【岡山県】<br>障がい者就労・居場所支援   |
| 解決すべき社会課題 | 【領域】<br>1) 子ども及び若者の支援に係る活動<br>2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動<br>【分野】<br>③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援<br>④ 働くことが困難な人への支援<br>⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援<br>【その他】<br>障がい者への支援と比べて、ひきこもりや生活困窮者を支援する制度や事業所が圧倒的に少ないのが課題である |
| 申請事業の概要   | (概要)「自宅作業発注でコロナ禍に負けない自立支援」現在の作業内容<br>1. 麻紐を使った編み物作業(商品の装飾になる部品)<br>2. 木製品の外面を彫って仕上げる作業<br>3. 革製品の表面を絵の具で彩色して仕上げる作業<br>以上三種類用意しており今後更に内職作業の種類を増やす予定。   |
| 事業実施地域    | 岡山県から全国へ  |
| 申請事業期間    | 2020年10月～2021年9月  |
| 申請助成額     | 1,796,260円  |

#### ■ 審査コメント

- ✓ 申請事業と公募テーマの関連性が低く、会計の体制にも不安を感じる。
- ✓ 申請事業と公募テーマの関連性及び緊急度が低い。活動内容は興味深いため、細く長く継続してほしい。

- ✓ 生産活動は具体的に考えられているが、販売展開への詰めが甘いと感じる。
- ✓ 採択には残念ながら至らなかったが、ひきこもり支援が対象となる別の支援制度の紹介や事務面を強化するためのサポートを意思を確認の上で支援していきたい。

## 中国 5 県新型コロナ対応緊急支援助成

### 公 募 結 果

#### ■ 概要

|           |  |
|-----------|--|
| 選考結果      | 不採択  |
| 団体名       | NPO 法人ペアレント・サポートすてっぷ   |
| 代表者名      | 安藤希代子  |
| 申請事業名 主題  | 障がい児保護者向け IT リテラシー向上事業   |
| 申請事業名 副題  | コロナ禍でも繋がりを作り相談できる体制を   |
| エリア／テーマ   | 【岡山県】<br>障がい者就労・居場所支援  |
| 解決すべき社会課題 | 【領域】<br>2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動<br>3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動<br>【分野】<br>⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援<br>⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援   |
| 申請事業の概要   | A:IT リテラシーが低い現状を改善することで、今後コロナ禍やそれに類する非常事態が起きたときに備えます。具体的な活動としては①障害児の保護者を対象にリテラシーが低い原因を調査。②調査結果に応じ IT リテラシー向上のための事業を実施。③家庭環境等の必要に応じ ICT 機器を貸与。<br>B:家にいながらにして繋がりを感じられるように、保護者向け YouTube 動画を作成・配信。A・Bによりどんな状況の人でもコロナ禍で孤立せず相談できる体制の構築を目指します。<br>C:今後に備えオンラインとオフラインを兼用した集会を可能にする機材を導入します。<br>C: 法人スタッフが非常事態でも勤務できるようテレワーク用の PC を購入します。 |
| 事業実施地域    | 岡山県  |
| 申請事業期間    | 2020 年 11 月～2021 年 10 月  |
| 申請助成額     | 4,861,300 円  |

## ■ 審査コメント

- ✓ 行政が対応できないニッチな領域で活動を行っており、課題についても非常に共感する。しかしコロナ禍における緊急度について、スタッフの環境整備の必要性は理解できるが、他の申請事業と比較すると緊急度が低く感じる。
- ✓ 障がい者の保護者がコロナ禍で置かれた状況は察するところであり、そこへ手を差し伸べる活動趣旨は共感する、に敬意を覚える。しかし、PC設備の計上額など、費用の組み方に疑問が残った。
- ✓ コロナ禍での緊急助成としては、緊急度が低く感じる。パソコン関連の設備への計上が多かったのが気になった。
- ✓ 年間の対応実績件数を見ると相談がかなり多く寄せられており、そこに応える意味合いとして評価したい。
- ✓ クラウドファンディングの寄付募集や行政との協働事業にも取り組むなど、事業力も高い団体であるため、採択には残念ながら至らなかったが、別の支援制度の紹介や調査実施の部分などで、意思を確認の上、支援していきたい。

## 中国 5 県新型コロナ対応緊急支援助成

### 公募結果

#### ■ 概要

|           |  |
|-----------|--|
| 選考結果      | 不採択  |
| 団体名       | 協同組合レインボー・カフェ・プロジェクト   |
| 代表者名      | 妹尾全郎   |
| 申請事業名 主題  | 障がい者・支援者・企業を結び付ける  |
| 申請事業名 副題  | 虹のかけ橋コミュニティを目指して   |
| エリア／テーマ   | 【岡山県】<br>障がい者就労・居場所支援  |
| 解決すべき社会課題 | 【領域】<br>3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動<br>【分野】<br>⑥ 地域の働く場づくりの支援   |
| 申請事業の概要   | 障がい者ひとりひとりの「経済的な自立支援」のために、私たち協同組合が長引くコロナ不況でも負けず請負業務に依存しない継続的な自立型経営に転換することを目指し、ドライフルーツのブランド化にチャレンジし、ネット通販事業を軌道に載せ、福祉の枠を超えて全国に商品を届け、お客様と繋がり反響や喜びの声を頂く環境は、働く障がい者にとって、働く喜び・社会参画を肌で感じられ、障がいを持っているひとりひとりの「自己肯定感」つまり精神的な自立支援にもチャレンジしたいと考えている。新規機械を設置することにより、障がい者の働く作業内容が広がり、今まで作業に参加するのが困難であった人にもその機会を与えられることにつながる。 |
| 事業実施地域    | 岡山県内   |
| 申請事業期間    | 2020年10月～2021年9月   |
| 申請助成額     | 4,484,000円   |

#### ■ 審査コメント

- ✓ 商品生産量の増加や販路拡大を目指されており、助成の趣旨にはあっている。ウェブでの販路拡大やブランディングが重要になるが、うまくできるかが懸念事項。取り組みとしては良い。
- ✓ 大変な状況であり、「新しい収益源を」という計画についても理解する。ただ、同業の民間事業者もさまざまな努力を行っている中で、マーケティング面で不安を感じる。設備投資に対する利益が

どの程度見込めるか、提案資料からは読み取れない。法人の負債がさらに増えてしまうとより大変なことになってしまうため、応援したいという気持ちはあるが先行きが見通せない。

- ✓ 地域課題をきちんと認識されているが、すでに多くの負債を抱えており、どのように事業を展開していくか課題を感じる。
- ✓ いい商品を作っていく力を感じる一方、経営への不安も感じる。打って出ていくという強い気持ちが伝わるが、「決まった販路にしか売らない」というこれまでのやり方をどう変えていくかというところに挑戦してほしい。
- ✓ 採択には残念ながら至らなかったが、別の支援制度の紹介や、より踏み込んだ販売戦略の立案などについて、意思を確認の上、支援していきたい。